



新☆びゃくか（白花）たより

9月度例会の様子

蕎麦打ちに山登りに深まりゆく秋をエンジョイしています

手打ちそばぐる〜ぶ

白花

第号：R 4. 10. 15



コロナ感染者の数が減少していますが、消滅すること無く推移するようで、第8波発生も危惧されますので用心しましょう。

例会は、体験者を含め15名の出席者で開催されました。初めに、ミーティングで今月16日の東神楽での2段位審査会は、来年5月に延期となった様です。

又、来月20日に幌加内での三段位審査会にのエントリーしている、goudaさんとつねさんの特訓日程を調整しました。

先月、交通事故に遇われたS木さんは、体調快復に努める為欠席されました。

体験者のUさんですが、目を見張るほど上手になっているのをタガさんが見て、感心していました。頑張った甲斐が有りましたね。

食事は、どりさんが海老天と蕎麦巻寿司を用意し、大変美味しく頂きました。食事当番の方々毎月ありがとうございます。

例会終了後、どりさんの誘いでタガさんを含め6名で秋色に染まり始めた手稲山登山を決行しました。

が・・・途中で雷雲が発生しやむなく下山となりました。

昨年も手稲山登山を慣行しているタガさんは翌日晴天に恵まれ絶好の登山日和に、再度トライし頂上を極めたようです。

私も若い頃に仕事で何度か登りましたが、石狩平野を見渡す先には雪を頂いた暑寒別岳連峰等々がそびえ圧巻の眺望が待っていました。汗をかいて到達した後の、心が真っ新になるような爽快感は、登った人でないと味わえない格別の感が有ります。

頂上には一等三角点「手稲山」が有ります。

明治維新後の明治33年、陸軍陸地測量部地理調査所（現国土地理院）によって設置されその後北海道開拓に無くてはならない礎となりました。

設置当時は前人未踏の原始林で幾多の未曾有の苦難が有ったようで、民間では到底無理で、陸軍だからこそ成しえた壮大な偉業でした。

目的は、国土防衛のため地上作戦を展開できる精密な地図が必要となり、地図作成の基準となる三角点を日本全土に網羅した中の一点が手稲山でした。

更に二等から三等点を設置したのちに、日本列島の縮尺5万分の1の地形図が出来上がりました。

（一等点全国973点 一等～四等点全部で109,021点）



